



小中一貫教育推進室だより

色麻町教育委員会 教育総務課 小中一貫教育推進室 65-2111 (有線 2040)



第1回小中一貫教育推進委員会より

シャクヤクまつりの終了とともに、紫陽花が見頃を迎え 本格的な夏の到来も間近です。



今回は、去る5月18日(火)に行われた、第1回小中一貫教育推進委員会のもようについてお知らせいたします。

まず 本委員会の委員長及び副委員長には、これまでの経過について詳しい色麻中学校の末永校長先生と、協働の町づくり実行委員会の伊藤わか先生に、前年度に引き続きお引き受けいただきました。

会議では、「色麻町の小中一貫教育の実施はすでに決まっていること。そして、町がやることだからうまくやってくれるだろう。」と、考えている町民がほとんどかもしれないが、小・中の子どもの年齢差や生活リズムの違いを踏まえた、慎重な取組が必要ではないかというご意見を頂きました。

従って、有線放送による「教育委員会だより」や、毎月15日に全戸配布させていただいている本広報誌等も、興味を持って読んで

いる方とそうでない方に、二分されるのではないかということでした。

よって、今後もこのような町民への広報は必要ですが、むしろ小中一貫校開校以降に小・中学生を持つ可能性のある若い年代層を対象に、積極的に情報提供や啓発を図る必要があるのではないかとご提案でした。

さらに、「どんな事業でもメリット・デメリットはつきもの。先生方は教育のプロなので、メリットを最大限に発揮させ、デメリットを最小限に食い止めるような工夫と努力に期待したい。」というご意見も頂きました。

また、小中一貫教育校としての名称と、対外的な小学校名の決め方についても、意見交換が行われました。

校舎等施設建設場所については一定の方向性を示し、最終的な検討を行っております。

今後、小中一貫教育に関する講演会等のご案内を差し上げますので、町民の皆様も是非ご参加ください。



小・中学校の先生方全員で計画推進

6月3日(木)は、町内の小・中学校の先生方全員(約52名)が色麻中学校に集まり、小中一貫教育に関する昨年度の取組の経過と今年度の取組計画等について確認しました。

その後、「学力向上部会」「色麻学部会」「交流学习部会」の3部会に分かれ、一貫校開校後をイメージしながら、各部会毎に今後必要と考えられる取組計画や、具体的な実践事項等について話し合いました。

3校の先生方が一堂に会し、このような会議を開くのは今回が初めてです。従って、小中一貫教育に対するイメージや理解、そして考え方に違いが見られ、いろいろ活発な意見が出されました。

今後は各部会毎に会議を開き、具体的な計画を立てていきます。そして、全体として連絡や調整を行い、相互に連携を図りながら、できることから実践していきます。

